

2026年3月吉日

各位

埼玉信用組合

## 埼玉県内の金融機関と連携した手形・小切手の全面的電子化推進について

埼玉信用組合（理事長 清和 均）は、全国銀行協会が掲げる「2026年度末までに手形・小切手の交換枚数をゼロにする」方針に基づき、埼玉県内の金融機関と連携し、手形・小切手の全面的な電子化に向けた取り組みを開始します。

### ▶ 県内の8金融機関が連携し、電子化の周知・導入支援を強化します

2027年3月末の紙の手形・小切手利用廃止まで残り1年となる中、手形・小切手の電子化が進んでいないことが課題となっています。

埼玉県内に本店を置く8金融機関が電子化の周知および導入支援に向けて、共同での啓発チラシの作成・配布やお客様への説明を通じて、紙の手形・小切手利用廃止および電子化のメリットや導入方法を分かりやすくお伝えします。

### ▶ インターネットバンキング・でんさいの利用促進を通じて、業務効率化や環境負荷低減を後押しします

支払側、受取側および社会全体にとって利点があるインターネットバンキング・でんさいの利用促進・定着を後押しすることにより、持続可能な社会の実現に貢献します。

電子化のメリット

- ①紙帳票の紛失リスクの低減
- ②印刷・郵送にかかるコストの削減
- ③事務負担の軽減
- ④紙の使用量削減による環境負荷の低減

### 参加金融機関一覧（金融機関コード順）<全8機関>

埼玉りそな銀行、武蔵野銀行、埼玉縣信用金庫、川口信用金庫、青木信用金庫、飯能信用金庫、熊谷商工信用組合、埼玉信用組合

以上

### <本件に関するお問合せ先>

埼玉信用組合 フリーダイヤル 0120-097-874